


展示会 Exhibitions

第2回企画テーマ展 鶴	無料
期間	2015.06.27(土)～08.16(日)
会場	2F 特別展示室
北海道を代表する生物の一つであるタンチョウ。直接見かける機会はまれでも、鶴の姿や文字には、日々の暮らしのあちこちで出あいます。風呂敷や衣類、酒の銘柄、地名、木彫りのお土産品、アイヌ民族の踊り、等々。当館収蔵庫での「鶴探し」の成果を中心に、鶴と人との深い関わりをたどります。	

予告

北海道博物館開館記念特別展
夷酋列像 蝦夷地イメージを
めぐる人・物・世界
2015.09.05(土)～11.08(日)

 クローズアップ展示	総合展示室の 観覧料が必要です
クローズアップ展示は、ふだんの総合展示だけでは十分に紹介しきれない話題や、北海道博物館が所蔵する資料などを、テーマを決めて定期的に入れ替えて紹介する展示コーナーです。7月からは、クローズアップ展示1と2が新しい展示に変わります。どうぞお見逃しなく！ 【会場】総合展示室内。ぜんぶで7か所あります	
1 江差・松山の人びとー『江差松山屏風』を読む	NEW
2015.06.30(火)～09.27(日)	
18世紀ごろのニシン漁や材木の流送の様子をえがいた『江差松山屏風』から、当時の人びとの働くすがたを読みとってみます。※8月16日(日)までは「江差屏風」を展示します	
2 北海道の双六あれこれ	NEW
2015.06.30(火)～08.30(日)	
北海道博物館の所蔵資料から、北海道の風景や名産品などをテーマに江戸時代から明治時代にかけて作られた双六を紹介します。	
3 アイヌ文化 イナウ	
2015.04.18(土)～10.18(日)	
4 アイヌ史 1920～30年代の札幌	
2015.04.18(土)～2016.01.31(日)	
5 岩手県から北海道へ渡った神楽	
2015.04.18(土)～2016.03.13(日)	
6 札幌オリンピック	
2015.04.18(土)～07.26(日)	
7 北海道の生物多様性	
2015.04.18(土)～10.18(日)	

【お問い合わせ】

北海道博物館 道民サービスグループ
〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2
TEL: 011-898-0456 (代表)

イベント Events

※イベントの詳細は裏面をごらんください
申し込みはお電話で！011-898-0500(9:30～17:00)

ちゃれんがワークショップ 水辺の生き物をさがそう		
日時	7月4日(土) 10:00～12:00	会場 北海道開拓の村
担当	濱本真琴・扇谷真知子(自然ふれあい交流館)、堀繁久・水島未記	申込 6月5日(金)から
特別イベント 絵本になった北海道博物館を見てみよう！		
日時	7月5日(日) ①1回目13:30～、②2回目14:00～	
担当	北海道札幌平岸高等学校デザインアートコース2・3年生の生徒さん	
会場	総合展示室内(1F交流ゾーン)	申込 不要 ※要観覧料
フォーラム 北海道博物館と地域の関わり 教養3 ーリニューアルした北海道博物館は高齢社会のなかで何ができるのかー		
日時	7月11日(土)13:30～16:30	会場 講堂
担当	北海道博物館職員	申込 6月12日(金)から
特別イベント 北海道の博物館まつり		
日時	7月11日(土)9:30～17:00	会場 記念ホール
担当	北海道の各博物館の職員	申込 不要
ちゃれんがワークショップ 教養4/ジュニア1 石器をつくる		
日時	7月12日(日)10:00～15:00	会場 正面入口西側広場
講師	本吉春雄氏(湧別川流域史研究会)、右代啓視・鈴木琢也	申込 6月13日(土)から
ちゃれんがワークショップ マイヅルソウとツル植物の観察会		
日時	7月18日(土) 10:00～12:00	会場 野幌森林公園
担当	水島未記	申込 6月19日(金)から
講演会 ほっかいどう学2/必修1 人と鶴の関わり の歴史		
日時	7月19日(日)13:30～15:30	会場 講堂
講師	久井貴世氏(北海道大学大学院生)	申込 6月20日(土)から
ちゃれんが子どもクラブ ジュニア1 消しゴムはんこづくり		
日時	7月25日(土)10:00～12:00	会場 講堂
担当	水島未記・三浦泰之・春木晶子	申込 6月26日(金)から
赤れんが講座② ほっかいどう学2/必修1 館長×学芸員トーク「鶴」展みどころ紹介		
日時	7月25日(土)13:30～15:30	会場 道庁赤れんが庁舎
担当	石森秀三館長・水島未記、久井貴世氏(北海道大学大学院生)	申込 不要 会場注意
講演会 ほっかいどう学2/必修1 国立歴史民俗博物館・北海道博物館共同講演会		
日時	7月26日(日)14:00～16:00	会場 講堂
講師	①内田順子氏、②川村清志氏	申込 6月27日(土)から

行事の申し込みはお電話で！

011-898-0500 (9:30~17:00)

行事の申し込みはお電話で！

011-898-0500 (9:30~17:00)

ちゃれんがワークショップ 水辺の生き物をさがそう			
日時	7月4日(土) 10:00~12:00	会場	北海道開拓の村 (管理棟入口前集合)
担当	濱本真琴・扇谷真知子(自然ふれあい交流館)、堀繁久・水島未記	申込	6月5日(金)から
対象	子ども/学生/おとな	定員	40名(先着)
ちょっとした水辺でも、たくさんの小さな物たちが生きています。魚はもちろん、ゲンゴロウやトンボの幼虫などの虫たち、エビの仲間などなど……。水辺の生き物のひそやかな暮らしをのぞいてみましょう。【自然ふれあい交流館との共催事業】			
特別イベント 絵本になった北海道博物館を見てみよう！			
日時	7月5日(日) ①1回目13:30~、 ②2回目14:00~	会場	総合展示室内 (1F交流ゾーン)
担当	北海道札幌平岸高等学校デザインアートコース2・3年生の生徒さん	申込	不要 ※要観覧料
対象	子ども/学生/おとな	定員	なし
北海道博物館には自然・歴史・文化がいっぱい！ この北海道博物館の魅力を札幌平岸高等学校デザインアートコースの皆さんがデジタル絵本にしてくれました！ 高校生の豊かな感性が作り出した絵本を巨大なスクリーンで見てください。絵本は読み聞かせ式で、平岸高等学校デザインアートコースの代表作も披露します。【平岸高校との共同イベント】			
フォーラム 教養3 北海道博物館と地域の関わり —リニューアルした北海道博物館は高齢社会のなかで何ができるのか—			
日時	7月11日(土)13:30~16:30	会場	講堂
担当	右代啓視・堀繁久・池田貴夫・水島未記・小川正人	申込	6月12日(金)から
対象	学生/おとな	定員	100名(先着)
新生「北海道博物館」が、これまでに実践してきた具体的な取り組みや博物館の運営について紹介し、高齢社会をふまえたこれからの連携と共同のあり方について考えます。 ※道内博物館職員対象の「ミュージアムマネージメント研修会」を一般公開するものです。【北海道博物館協会、日本ミュージアムマネージメント学会北海道支部との共催事業】			
特別イベント 北海道の博物館まつり			
日時	7月11日(土)9:30~17:00	会場	記念ホール
担当	北海道の各博物館の職員	申込	不要
北海道内の各地域の博物館が大集合！ ポスターやチラシなどで各博物館を紹介するコーナーを設けるほか、各博物館の職員が、地域の博物館やその活動を直接お客さまに紹介します。簡単なワークショップも行います。【北海道博物館協会との共催事業】			
ちゃれんがワークショップ 教養4/ジュニア1 石器をつくる			
日時	7月12日(日)10:00~15:00	会場	正面入口西側広場 (雨天時は講堂)
講師	本吉春雄氏(湧別川流域史研究会)、右代啓視・鈴木琢也	申込	6月13日(土)から
対象	子ども/学生/おとな	定員	40名(先着)
石器は、時代とともに生活の中で工夫され発展してきた道具です。先史文化には、切る・削る・彫るなど目的により様々な石器がつけられました。旧石器文化から使われている白滝産の黒曜石を材料に石器のつくり方を学び、現代の道具と比較してみましょう。			

ちゃれんがワークショップ マイヅルソウとツル植物の観察会			
日時	7月18日(土) 10:00~12:00	会場	野幌森林公園(自然ふれあい交流館集合)
担当	水島未記	申込	6月19日(金)から
対象	子ども/学生/おとな	定員	40名(先着)
その姿を羽ばたく鶴にたとえて名付けられたマイヅルソウ(舞鶴草)。「鶴」展開催にちなんで、ツルの名前を持つこの植物や、ツルに関わりのある植物を観察してみましょう。ツル(鶴)→つる(蔓)植物……ちょっと苦しい？			
講演会 (ほっかいどう学2/必修) 人と鶴の関わり歴史			
日時	7月19日(日)13:30~15:30	会場	講堂
講師	久井貴世氏(北海道大学大学院生)	申込	6月20日(土)から
対象	学生/おとな	定員	100名(先着)
北海道を代表する鳥であるタンチョウを中心に、縁起物としてくらしの中で親しまれる鶴、狩猟や贈答に利用された鶴など、人と鶴との関わりを多様な側面から紹介します。蝦夷地のタンチョウを飼育した水戸黄門、将軍も食べた鶴の味、石狩地方に鶴がいた頃の話なども織り交ぜて。企画テーマ展「鶴」展に合せた企画です。			
ちゃれんが子どもクラブ ジュニア1 消しゴムはんこづくり			
日時	7月25日(土)10:00~12:00	会場	講堂
担当	水島未記・三浦泰之・春木晶子	申込	6月26日(金)から
対象	子ども/親子	定員	30名(先着)
お手紙や絵や持ち物に、自分の印をポンポンおそう！ ピアノやサッカーボール、好きなもののかたちや、自分の名前や文字のかたちを工夫して、自分だけのマークを考えましょう。絵巻物や屏風におかれた、いろいろな、不思議なかたちのハンコをお手本に紹介します。			
赤れんが講座② (ほっかいどう学2/必修) 館長×学芸員トーク「鶴」展みどころ紹介			
日時	7月25日(土)13:30~15:30	会場	北海道庁赤れんが庁舎2階1号会議室
担当	石森秀三館長・水島未記、久井貴世氏(北海道大学大学院生)	申込	不要
対象	学生/おとな	定員	100名(先着)
北海道博物館「赤れんが講座」では、石森秀三館長と学芸員が、開館したばかりの博物館の活動や魅力を、対談形式でご紹介します。第2回の今回は、館長と、展示を企画した水島学芸員、そして北海道大学大学院の久井貴世氏をゲストに迎えて、開催中の「鶴」展のみどころや、北海道の自然や文化を語ります。			
講演会 (ほっかいどう学2/必修) 国立歴史民俗博物館・北海道博物館共同講演会			
日時	7月26日(日)14:00~16:00	会場	講堂
講師	①内田順子氏・②川村清志氏(国立歴史民俗博物館)	申込	6月27日(土)から
対象	学生/おとな	定員	100名(先着)
講演①：内田順子氏「メディアリテラシーを育む—アイヌ文化に関する映像を中心に—」 アイヌ文化を撮影した古い記録映像を中心に、映像がつけられた背景、撮影と編集の過程を紹介しながら分析し、映像を読み解く力の必要性について考えます。 講演②：川村清志氏「災害の遺構は保存されるべきか!?—奥尻・阪神淡路・中越、そして東日本」 北海道の奥尻島、阪神淡路、あるいは東北地方などで震災の記憶をとどめる遺構や記念物の諸相について紹介し、地域社会にとって災害の記憶や記録は、どうあるべきかについて考えていきます。【総合研究大学院大学との共催事業】			

ハイライトツアー

総合展示室をまわりながら、展示のみどころを解説スタッフが1時間でお話するツアーガイドを14:00~15:00に実施しています。事前の申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。